

総合政策学科	科目	現代社会が抱える諸課題に関する小論文
--------	----	--------------------

2015年9月に国連サミットで Sustainable Development Goals (SDGs、持続可能な開発目標) が加盟国の全会一致で採択され、2030年までに国連加盟国が達成すべき17のゴールが設定されました。その目標達成の進捗状況については、ドイツのベルテルスマン財団と持続可能な開発ソリューション・ネットワーク(SDSN)によって毎年報告書が作成されています。各国の達成状況をまとめた最新の2022年版報告書、Sustainable Development Report 2022(<https://dashboards.sdgindex.org/>)を参照し、下記の(1)から(3)の設問に対し、それぞれの問の番号を記した上で、自分の言葉で論じなさい。

<注意>

- ・ 字数は合計で1200字以内とします。手書きの場合、数字やアルファベットは1マス1文字としてください。
- ・ 上記の Sustainable Development Report 2022以外に参考にしたウェブサイトや資料があれば名称を明記すること。手書き・PCいずれも2枚目に別紙として「事前課題解答用紙(PC用)」を用いて記載してください。参考にしたものに関する記述は1200字の制限字数に含みません。

(1) Sustainable Development Report 2022のCountry Profilesから日本を参照し、SDGsの17のゴールのうちで日本の達成度が低い(major challenges remain)とされているゴールを1つ選び、そのゴールの達成度を測るのに用いられている指標群(Indicators)が意味することを、その全てに言及しながら述べなさい。(300字程度)

(2) (1)で取り上げたゴールの達成度を測る指標群(Indicators)から2つの指標を選び、それら2指標について各国の達成度をウェブ上で視覚化した世界地図(Visualize on mapもしくはInteractive Map)を参照し、世界の状況と日本の位置づけを説明しなさい。(300字程度)

(3) (2)での説明を受けて、日本の達成度をもっとあげるためには、どのような社会的な働きかけがあると思いますか。また、自身の経験や身近な自治体の例などを参照し、その働きかけがもたらしうる効果や限界について具体的に論じなさい。(600字程度)

出典

Sachs, J., Lafortune, G., Kroll, C., Fuller, G., Woelm, F. (2022). *From Crisis to Sustainable Development: the SDGs as Roadmap to 2030 and Beyond*. Sustainable Development Report 2022. Cambridge: Cambridge University Press.
doi.org/10.1017/9781009210058